

第37回テーマ:

六甲山の早春の植物を
見てみよう



満開のアセビ

講演内容

- ①春植物とはどんなもの?
- ②六甲山で見られる植物
- ③今、六甲山を歩いてみると?

実施日:平成18年4月15日(土)
午後1時～3時45分
場所:六甲山自然保護センター内
レクチャールーム



講師:高橋 晃さん

プロフィール

1984年大阪大学大学院単位取得退学。1990年より兵庫県立人と自然の博物館の設立準備に関わる。兵庫県立大学教授、人と自然の博物館主任研究員を兼務。

久しぶりの自然保護センター

冬季休館していた六甲山自然保護センターが開館し、久しぶりにレクチャールームへ集まりました。平成15年から実施している市民セミナーも4年目となり、通算37回目が開幕しました。

当日は曇りで霧が立ちこめていましたが、山上へ向かう途中のドライブウェイでは、ヤマザクラが満開でした。記念碑台のサクラはつぼみがまだまだ堅く、これからのようです。

早春のかわいらしい花をスライドで鑑賞

講師の県立人と自然の博物館主任研究員の高橋晃さんは、アジアの植物の自然史や兵庫県の絶滅危惧植物を研究されています。2004年6月から1年間は、保全生物学専門家としてマレーシアのサバ大学にも行かれました。

今回は「スプリング・エフェメラル(春の儂いもの、春の妖精)」とよばれる、春先のほんの一時に咲く草花たちをスライドでご紹介いただきました。開花から結実までの1年間の成長サイクルなども解説していただきました。



スライドを鑑賞

野外観察では4種類の植物を確認できた

スライド鑑賞の後、野外観察へ出かけました。あいにく外は雨でしたが、傘を差しながら散策路を皆で歩きました。アセビ、オオイヌノフグリ、フラサバソウ、シロバナショウジョウバカマなどを見つけ、観察することができました。雨に打たれながらひっそりと咲く小さな花の儂さに、風情を見出しました。

交流会では平成18年度の活動を紹介

交流会では、当会の平成18年度の活動について紹介し、皆さんに協力を呼びかけました。今年度も「スローライフ in 六甲山」をテーマに活動を試みます。皆さんと意見を交わしながら進めたいと願っています。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 田路 弘さん

当日は雨、六甲山らしく濃霧で寒かった。一時間余り、高橋先生から「春植物とはどんなもの?」「六甲山で見られる春植物」についてお話を伺った。

そして「今、六甲山を歩いてみると」では、時には激しい雨の降る中、六甲山自然保護センターの裏道を歩いて、アセビ、クロモジ、オオイヌノフグリ、シロバナショウジョウバカマなどを説明してもらった。何度か歩いたところでも「見る目」を持たないと何も見えていないことを痛感した。



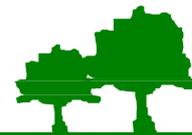
主催:六甲山自然保護センターを活用する会
協力:兵庫県立人と自然の博物館
後援:兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

(財)大阪コミュニティ財団(東洋ゴムグループ環境保護基金)、コベルコ環境保全基金
公益信託自然保護ボランティアファンド



第37回テーマ：六甲山の早春の植物を見てみよう



第37回市民セミナーの流れ

市民セミナー

1. あいさつ：13:05～13:15
2. 講演：13:15～14:00
3. 現地観察：14:00～14:45
4. 質疑応答：15:00～15:15
5. 交流会：15:15～15:50

講演

- ①春植物とはどんなもの？
- ②六甲山で見られる春植物
- ③今、六甲山を歩いてみると



久しぶりのレクチャールーム

講演の挨拶(高橋 晃さん)

市民セミナーで植物はテーマに何回か取り上げられていますが、今回はまだ取り上げられていない、4月の早い時期の植物についてお話します。あいにくの天気ですが、現地観察もしたいと思っています。



高橋 晃さん

講演内容

1. 春植物とはどんなもの？

■春植物とは

春植物は「スプリング・エフェメラル」(エフェメラルは「一時的な」という意味)や、日本語では「春の妖精」や「春の儂いもの」などと呼ばれる。3月ぐらいに雪解けとともに地上から芽を出し、4月の早い時期に花をつける。他の植物が出てくる頃になると休眠し、秋から冬にかけては次の年の芽を出す準備をする。春植物は小さくて弱いものがほとんどなので、そういう生き方をしている。

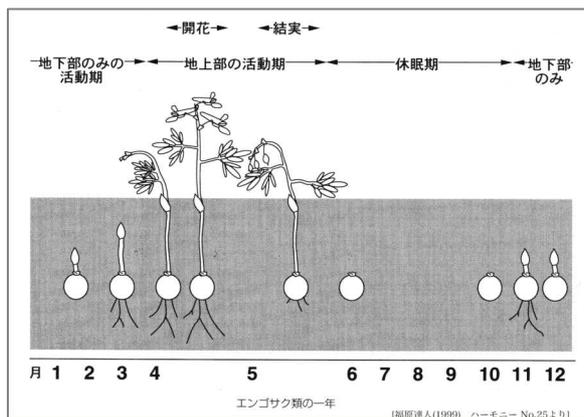
<例>ヤマエンゴサク、セツブンソウ、アズマイチゲ、カタクリ



ヤマエンゴサク



セツブンソウ



春植物の一生

2. 六甲山で見られる春植物

春植物は北の方に多いが、六甲山にもないわけではない。どれも可憐な花を咲かせる。上部に他の植物が茂る頃になると消えていく。六甲山ではそうそう簡単には見られない。<例>ユキワリイチゲ

■六甲山で見られる“準”春植物

生活様式が典型的な春植物とは違うが、春に花が咲く植物が見られる。ショウジョウバカマのようにずっと葉が残るものもあるし、きれいな花を咲かせるものも多い。<例>ショウジョウバカマ、シュンラン、スマレ



シハイスミレ

■六甲山で見られる雑草的な植物

これは準春植物よりももっと見られる。今の時期、六甲山にはシロバナショウジョウバカマが非常に多い。兵庫県でも特に六甲山の周辺は非常に多い。六甲山に来たのならこれを見てみたい。ピンク色のショウジョウバカマは1週間ほど後の時期になる。

<例>ハコベ、ホトケノザ、オドリコソウ、タネツケバナ、トウダイグサ、ヒメオドリコソウ、ムラサキケマン、オオイヌノフグリ



ホトケノザ



オドリコソウ



トウダイグサ

■六甲山で見られる春の樹木

春の樹木の花は知らないことと花だと思わないことが多い。葉と同じように緑色だったり、小さくて目立たない花が多い。

<例>マンサク、カエデ類(ウリカエデなど)、アセビ、クロモジ



クロモジ

3. 今、六甲山を歩いてみると

スライド鑑賞の後、各自雨具を準備して、30分ほど野外観察へと出発。自然保護センターの駐車場を抜けて、サンセットロード方面へ向かった。

今回はオオイヌノフグリ、フラサバソウ、シロバナショウジョウバカマ、アセビの4種類に絞った。散策路の脇で雨に打たれながらもひっそりと咲く様子を観察することができた。

無事に全ての種類を見つけることができてひと安心。もう少し観察をしたかったが、時間切れのため、自然保護センターへ戻った。



雨の中観察する熱心さに感心



フラサバソウ



オオイヌノフグリ



シロバナショウ
ジョウバカマ

質疑応答

カタカナ表記はなぜ? : 特に決まっているわけではない。学術的図書はカタカナ表記がほとんど。漢字にすると読み方が人によって違ったりする。一般には漢字でもひらがなでも使いやすいもので可。

まとめ (高橋さん)

目標としていた花が全部見られました。名前は知らなくてもよくご存知なことだった花もあったと思います。自分の家に近所にも生えるのでまた見ていただけたらと思います。残念ながら天気は今一つでしたが、それを押し切っていった甲斐がありました。

◆参考・配布資料など

- レジュメ、スライド
- 植物生活史図鑑
- 2006年度「ひとはく手帖」
- 季刊誌「セミナーガイド春号」



ひとはく手帖 他

兵庫県立人と自然の博物館
〒669-1546 三田市弥生が丘6丁目
TEL : 079-559-2003 FAX : 079-559-2019
URL : <http://hitohaku.jp/> Mail : root@hitohaku.jp

参加の感想 鎌田 道子さん

セミナーに初めて参加しました。春というのに山はまだ寒く、雨と霧。久しぶりに六甲の霧に会いました。軽い気持ちでの参加でしたので皆様の六甲山にかけての情熱にやまとまどいました。

すぐ近くに住んでいるのに、山のことは全然知りません。自然に触れ合いたいと思ひ、これから少しずつ教えていただけたらと思います。



交流会

セミナーの後の交流会では、当会の平成18年度の活動予定を紹介した。参加者の皆さんに、活動に対するご意見などをお聞きした。

平成18年度の活動

1. 六甲山の魅力を再発見して広報する活動
2. 記念碑台周辺の散策コースを整備する活動
3. 六甲山で四季のスローライフを楽しむ活動
4. 共同研究で六甲山に「ふるさと」を発見する活動

参加者の意見 (一部)

- ・バスなど交通の便が気になる。車で皆が一緒に移動できれば活動しやすい。
- ・活動地域が同じ他団体とも協力し合ってやっていきたい。全体枠の構想は素晴らしいが、若い人が少ないのが気になる。
- ・市民セミナー以外に話し合う機会をつくって具体的に進めていきたい。

事務局より

平成18年度もこれまで以上に充実させたいと願っております。設立4年目を迎え、運営基盤は整いつつあります。今後は会員がスタッフとして行事や企画に踏み込んでいただきたいと思います。みなさん是非ご協力をお願いします。

◆参加者の声～アンケートより～

- ・植物の名前の呼び方や、スプリングエフェメラルの1年のサイクルを理解できた。
- ・時間が足らず、ゆっくりと話が聞きたかった。
- ・もう少し対象植物が多い方が良かった。
- ・雨の中でも熱心な参加者があり感激した。

◆参加者 : 23名 (順不同・敬称略)

高橋 晃 村上 定広 浅井 審一 泉 美代子
福永 一登 武野 真也 森澤 富江 宇佐見勢都子
久保 紘一 田路 弘 鎌田 道子 中垣内 博
上田 厚子 松下 猛 小坂 忠之 香西 直樹
堂馬 英二 桑田 結 米村 邦稔 松井 光利
藤井宏一郎 菖蒲 美枝 堂馬 佑太